

出会いと感謝

写真作家活動を始めて二十三年。これまでの間、一貫したテーマで様々な国と地域を撮影してきました。それぞれの国や地域で、人、文化、環境、思想など新しい出会いがあり、その出会いが私自身をより豊かにしてくれました。そして昨年二月、二十二年分の写真作品を展示する機会をいただき、SOJOギャラリーにて約二週間、展覧会「時間（とき）の世界の情景」を開催することができました。開催期間中、新しい出会いがたくさんあり、その中の一人、私の作品の前で踊りたいと声をかけてくださったバレリーナ。そのことがきっかけとなり舞台でのプロジェクト、マッピング、劇場での映像演出など新しいことへの挑戦となる機会を与えていただきました。出会いで知識や感情が深まり人を豊かにすることができると私は感じています。その出会いひとつひとつに感謝し、たくさんの人々に感動を与えることが出来るよう日々努力していききたいと思います。私は写真作家でもあり大学教員でもあります。私の研究室で学ぶ学生に実践的な環境での映像制作や映像オペレーション、舞台照明など貴重な経験の場を与えていただいたことに心より感謝いたします。

甲 野 善一郎

写真、崇城大学芸術学部准教授